

議会報

第147号

平成26年5月

ぎかいほう

編集・発行 長南町議会広報特別委員会

〒297-0192 千葉県長生郡長南町長南2110 TEL 0475-46-3390（議会事務局）



第1回臨時議会

- 専決処分の承認 2

第1回定例議会

- 平成26年度各会計当初予算など22議案を可決 3
- 条例の制定・一部改正 6
- 平成25年度補正予算 7
- 人事案件 7
- 一般質問 8～13
- 議会閉会中の継続調査 13



第1回臨時議会

常任委員会委員等を改選する

臨時議会が2月5日に招集され、各常任委員会委員、議会運営委員会委員及び行政委員会の委員等の議員補欠選挙に伴う改選を行い、会期1日をもって閉会しました。

専決処分の承認

補正予算

●一般会計（第4号）
188万2千円を増額

前年度繰越金を歳入とし、歳出では、総務費において長南町議会議員補欠選挙に関する経費を補正するもので、補正後の総額は43億2539万5千円です。

質疑（要旨）

問 開票所の暖房器具リースについて伺います。

答 開票所として、長南町農村環境改善センターの多目的ホールを使用しました。暖房器具の点検を十分行い、準備をしておりましたが、選挙前日に故障しましたので、急きょ暖房器具をリースして対応しました。

常任委員会委員

◎は委員長、○は副委員長を示す

総務常任委員会		総務課総務室・企画財政室・政策室・住民課税務住民室・税務班、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、などに関する事項を所管します。	
◎板倉正勝	○小幡安信	◎丸敏光	○仁茂田健一
加藤喜男	松崎勲	林義博	石井正己
古市善輝			
産業建設 常任委員会		事業課産業振興室・農業推進室・地域整備室・ガス事業室、農業委員会、などに関する事項を所管します。	
◎大倉正幸	○丸島なか	◎大倉正幸	○丸島なか
吉野明夫	左一郎	松崎剛忠	
教育民生 常任委員会		教育委員会、住民課税務住民室国保住民班・保健福祉室などに関する事項を所管します。	

議会運営委員会委員

― 6人を選任 ―

議会運営委員会は、議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会条例等に関する事項、議長の諮問に関する調査を行い、議案、陳情等を審査します。

委員長	加藤喜男
副委員長	左一郎
委員	大倉正幸
委員	板倉正勝
委員	石井正己
委員	丸敏光

平成26年 長南町議会第1回臨時会提出議案等 議決結果

議案番号	件名	議決結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度長南町一般会計補正予算(第4号)について)	承認

第1回定例議会

平成26年度各会計当初予算など
22議案を可決

平成26年第1回定例議会は、3月4日から3月14日までの11日間の会期で開かれました。

平成26年度当初予算をはじめ平成25年度の補正予算、条例の制定・一部改正など22議案を審議しました。

また、14日に人事案件1件が追加提案され、審議しました。

なお、平成26年度一般会計予算については、内容が複雑多岐にわたるため、予算特別委員会を設置し、詳細な審査を行いました。

審議の結果、全議案原案のとおり可決しました。

また、一般質問は8人の議員が行い、議論が展開されました。

一般会計予算
39億8700万円 《前年度比1.2%増》

平成26年度予算は、基本計画・実施計画等との整合を基本とした持続的な行財政運営を念頭に置き、編成されました。

その内容は、防災行政無線デジタル化工事をはじめ、介護給付費や医療費に対する経費、地籍調査事業、道路・橋・トンネルなどの総点検事

業、合併60周年記念事業、教育施設整備基金への積み立てなどが主な事業となっています。



一般会計における質疑(抜粋)

問 小学校統合による校舎等の設計について伺います。

答 設計内容、方法については、現在のところ決まっておりません。今後協議して決定します。

問 老人クラブ活動費補助の増額について伺います。

答 老人クラブの活動によって元気に過ごすことができるといふところがあるので、今後、実態をよく見た中で検討させていただきます。

会計別当初予算の内訳

会 計			平成26年度 予算額(千円)	伸率(%)
一 般 会 計			3,987,000	1.2
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		1,200,000	△3.1
	後 期 高 齢 者 医 療		97,000	5.4
	介 護 保 険		1,062,200	0.9
	笠 森 霊 園 事 業		55,100	△3.2
	農 業 集 落 排 水 事 業		216,400	0.9
企 業 会 計	ガ ス 事 業	収益的收入	693,647	6.0
		収益の支出	688,418	4.7
		資本的收入	60,596	25.8
		資本の支出	231,246	30.4

平成26年 長南町議会第1回定例会提出議案等 議決結果

議案番号	件 名	議決結果
議案第1号	長南町職員の再任用に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	長南町使用料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第3号	長南町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第4号	長南町ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第5号	長南町社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第6号	字の区域の変更について	原案可決
議案第7号	長南町道路線の廃止について	原案可決
議案第8号	長南町道路線の変更について	原案可決
議案第9号	長南町道路線の認定について	原案可決
議案第10号	平成25年度長南町一般会計補正予算（第5号）について	原案可決
議案第11号	平成25年度長南町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	原案可決
議案第12号	平成25年度長南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第13号	平成25年度長南町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第14号	平成25年度長南町笠森霊園事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第15号	平成25年度長南町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第16号	平成26年度長南町一般会計予算について	原案可決
議案第17号	平成26年度長南町国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第18号	平成26年度長南町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第19号	平成26年度長南町介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第20号	平成26年度長南町笠森霊園事業特別会計予算について	原案可決
議案第21号	平成26年度長南町農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第22号	平成26年度長南町ガス事業会計予算について	原案可決
発議第1号	長南町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
同意第1号	副町長の選任につき同意を求めることについて	同 意

一般会計予算状況

39億8,700万円

町 債 316,000千円 7.9%

諸収入 67,481千円 1.7%

繰越金 50,000千円 1.3%

繰入金 260,897千円 6.5%

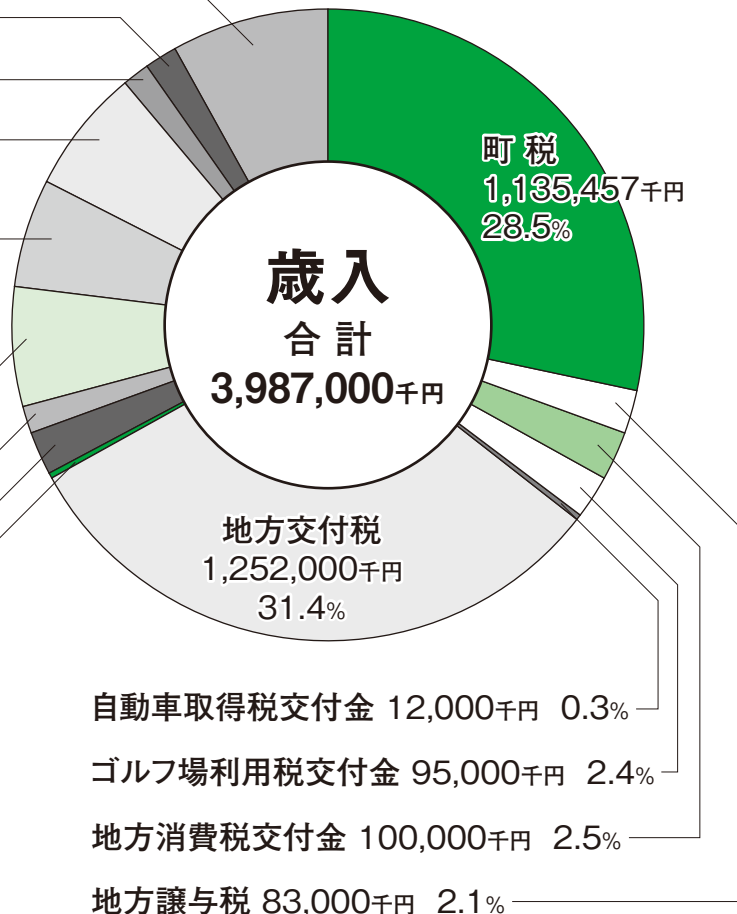
県支出金
215,749千円 5.4%

国庫支出金
248,812千円 6.2%

使用料及び手数料
59,441千円 1.5%

分担金及び負担金
82,949千円 2.1%

地方特例交付金外
8,214千円 0.2%



諸支出金 85,113千円 2.1%

公債費 403,908千円 10.1%

災害復旧費 4千円 0.0%

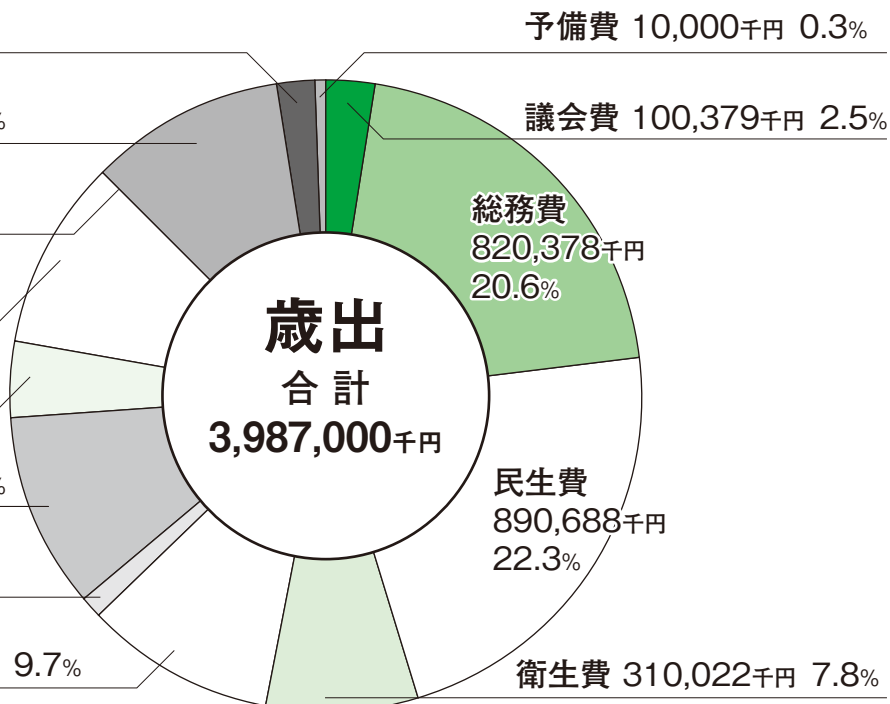
教育費 380,649千円 9.5%

消防費 158,007千円 4.0%

土木費 402,596千円 10.1%

商工費 39,832千円 1.0%

農林水産業費 385,424千円 9.7%



予算特別委員会

委員長 加藤喜男

予算特別委員会は3月10日に議長を除く13人で設置しました。

平成26年度一般会計予算の内容は複雑多岐にわたっており、慎重かつ詳細に審査する必要がありと認め、総務、産業建設、教育民生の3つの分科会を設置し、3月10日及び12日に執行部の出席を求め、書類審査と現地調査を行いました。3月13日に3分科会の審査結果報告を求め、次の意見・要望を付し、平成26年度一般会計予算は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



▲予算特別委員会による現地視察

意見要望事項

- 平成21年9月に策定した第4次長南町定員適正化計画に基づき職員適正化を進めているが、今後、国・県からの権限移譲事務も増えることから、計画の変更等について検討されたい。
- 若者の定住促進等に資するため、米満住宅跡地の利活用が早期に実現できるよう、計画的な推進を図られたい。
- 元国税専門官による、税の徴収指導を受けているので、徴収に対する専門知識及び技術を早く会得し、徴収率の向上に努められたい。
- 地籍調査事業については、調査に着手する初年度となることから、住民への十分な説明と理解を得て、円滑な事業推進に努められたい。
- 多面的機能支払については、事業を導入した地区において、集落共同作業が定着し、農地、農業用施設等の保全や農村環境の向上が見られることから、更なる事業導入地区の拡大と推進を図られたい。
- 道路及び橋りょう等の点検については、適切な維持管理を行うための基礎調査であることから、確実な点検を実施し利用者の安全性の確保に努められたい。
- 急速に小学校の小規模化が進み、適正規模を大幅に下回っているため、平成29年4月に小中一貫校へスムーズに移行し、子ども達の教育を保障できるよう予算措置を含め、十分に検討されたい。
- 健康で生きがいを持った老後を過ごせるよう、老人クラブの活動に対し、一層の支援をされたい。
- 社会体育施設については、老朽化が進み、修繕・改修が必要と考えられることから、施設を再点検し、財政状況を勘案しながら、計画的・効率的な施設整備を図られたい。

条例関係

《制定》

□長南町職員の再任用に関する条例

公的年金の支給開始年齢が段階的に60歳から65歳に引き上げられることに伴い、雇用と年金の接続を図るため、地方公務員法の規定に基づき、高齢者雇用に係る基本理念や事業主の責務規程などを踏まえ、新たに条例を制定するものです。

《一部改正》

□長南町使用料条例の一部改正

□長南町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

□長南町ガス供給条例の一部改正

改正

3条例は消費税法及び地方消費税法の一部改正に伴い、消費税の適正な転嫁を実施するため、条例の一部を改正するものです。

□長南町社会教育委員に関する条例の一部改正

地域の自主性及び自立性を

高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律による、社会教育法の一部改正に伴い、社会教育委員の委嘱の基準について改正するものです。

質疑(要旨)

問 社会教育委員一般公募の検討について伺います。

今後検討します。

答

字の区域変更

坂本利根里地区におけるは場整備事業に伴い、区域内の旧小字名の名称を利根里に変更するものです。

道路線の廃止・

変更・認定

圏央道建設に伴い3路線を廃止し、12路線を変更し、5路線を新たに認定するものです。



平成25年度 補正予算

●一般会計（第5号）

1722万7千円を増額

事務事業の執行にかかる精算及び2月の降雪処理に要した災害復旧費の追加などを主に補正するもので、補正後の総額は43億4262万2千円です。

質疑（要旨）

問 除雪に関する経費が補正されているが、除雪マニュアル等が作成されているかまた、道路沿いの竹を事前に伐採できないか伺います。

答 除雪に関するマニュアルについては、除雪する機械もありませんので作成していません。事前に伐採することについては、景観を守るという考えからも地元の方に協力をお願いしたい。

問 子ども子育て支援事業の内容について伺います。

答 子ども子育て支援事業が、平成27年度から

実施されるため、その準備に関する経費を今回補正するものです。全額平成26年度へ繰越し、実施されます。

●国民健康保険特別会計（第4号）

4433万4千円を減額

保険給付費及び諸支出金の精算などを主に補正するもので、補正後の総額は12億1769万2千円です。

●後期高齢者医療特別会計（第2号）

316万6千円を増額

決算を見込む中で保険料及び広域連合への納付金の増額などを主に補正するもので、補正後の総額は9748万5千円です。

●介護保険特別会計（第3号）

5869万4千円を減額

保険給付費の減額、地域支援事業費の精算及び平成24年度超過交付となった国・県支出金の返還金などを主に補正するもので、補正後の総額は10億1295万3千円です。

●笠森霊園事業特別会計（第2号）

364万8千円を増額

人件費の精算による減額、財政調整基金積立金の増額補正、歳入では前年度繰越金の増額などを主に補正するもので、補正後の総額は6339万円です。

質疑（要旨）

問 持ち主が所在不明である墓所の処理方法について伺います。

答 通常は墓石を撤去し、更地にして返還していただきますが、10年以上滞納があり、持ち主が所在不明である墓地は、町が費用を負担して墓石を撤去し更地にして再度販売しています。撤去した墓石については、産業廃棄物として処理されます。

●農業集落排水事業特別会計（第3号）

734万7千円を減額

圏央道関連工事の精算に伴う減額を主に補正するもので、補正後の総額は2億1798万6千円です。

《道路線の廃止》

圏央道建設に伴い圏央道の道路区域内となった3路線を廃止するものです。

《道路線の変更》

圏央道建設に伴い付け替えとなる12路線について、変更するものです。

《道路線の認定》

圏央道建設に伴い代替え道路としての5路線について、新たに認定するものです。

発議案

「長南町議会会議規則の一部を改正する規則」の制定について
全員賛成で可決

（加藤喜男、板倉正勝、丸敏光、大倉正幸 議員提出）

一般質問の方式について、平成24年6月定例議会から平成26年2月定例議会まで試行的に「一問一答」方式で行ってきました。これについて規則の改正を行い、平成26年6月議会から本実施するものです。

人事案件

■副町長の任命同意

平成26年3月31日任期満了となる葛岡郁男氏の後任として麻生由雄氏を選任したい旨の提案があり、適任と認め同意しました。

氏名 住所
麻生 由雄 長南町小沢

質疑（要旨）

問 任期について伺います。

答 地方自治法により4年となっています。



一般質問

吉野明夫 議員

民意の反映手段は

問

議員の補欠選挙中に町民の方々から、いろいろな要望をいただきましたが、議員には執行権がありません。ですから町民の要望は町長さんをお願いするしかないのです。そこで、町長は民意の反映手段をどの様に考えているのか伺います。

今後とも意を用いる

答 町長

区長から町に対する要望、議会での一般質問や要望、町の総合計画に基づく事業の推進等、手段はいろいろありますが、今後とも意を用いてまいります。

議会からの要請でも話し合いの場を

問

行政からの提案を待っているだけでは、町の行政は遅れるばかりです。議会の方からも、こういう案件について執行部と話し合いたいと申し込んだ場合、話し合いの場を持つていただけるか伺います。

いつでも議論を

答 町長

議会の方からの案件につき執行部にテーブルについてほしいといっていたら、いつでもそういった場に出席し議論させていただきます。



▲議場の様子

大倉正幸 議員

東京オリンピックに向けて施設の貸し出しについて

問

2020年の東京オリンピック開催時に町内のスポーツ施設を外国人選手に練習場として貸し出し出来ないか伺います。

国際規格に準拠していない

答 教育課長

オリンピックの競技場、練習場所、用具については、国際競技連盟の規定に合っていないかもしれません。本町は国際規格に準拠した施設を持ち合わせていないので、活用出来ません。



東京オリンピック開催中の観光客の取り込みについて

問

オリンピック期間中は多数の観戦者が集まりますが、あるシンクタンクの試算では千葉県の経済波及効果は201億円だそうです。観光客を本町に取り込む方策を考えるべきだと思いますが、町の考えを伺います。

近隣の市町村とタイアップして考えます

答 事業課長

長生郡市の観光協会が長生郡市観光連盟を作っています。ほかに市原市を中心に10市町で構成する中房総観光推進ネットワーク協議会というものも結成されています。その他各種団体が開催するイベントにも参加して広範囲にPRしていきます。町内の観光看板も日本語のほか外国語表示を入れていきます。



▲圏央道出入りに設置された観光看板

耐震診断結果の対応について

問

平成24年3月定例会において、本庁舎、公民館の耐震診断結果の対応について当時の町長に考えを伺いましたが、町長の考えを伺います。

あらゆる角度から検討していきます

答 町長

本庁舎が42年経過し老朽化が著しいこと、防災の拠点施設としての機能を持たせる必要があること、などから今後は新

築、改築、公民館との複合施設等、あらゆる角度から検討していきたいと考えています。
時期に関しては、財政状況を踏まえた中、統合小学校の

建設を優先していきたいと考えますが、庁舎建設についても財政計画を立て財源の確保に向けて、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

仁茂田 健一 議員

職員の資格取得について

問

町の財源が厳しい中、各課で必要とする資格を職員が取得することにより、職員の意識が変わり、委託業務の減少・業務の迅速化等が図られると考えます。職員・住民一体町を造りあげるには必要だと思いますが伺います。

取得させていく

答 町長

現在採用時においては、一般職と専門職に分けて試験を実施しており、専門職は有資格者、一般職は履歴調書で有資格者を判断し、必要とする課へ配属することになっています。今後は資格を必要とする課については、有資格者を増やすことによって、業務の遂行がスムーズにいくことがあると思うので、資格を取らせて行きたいと思っています。

行政運営について

問

問題が山積している町の行政運営について伺います。町長の施政方針を聞き、また、平成26年度の3か年計画を見た中で、長南町は課題が山積しているが、町長は何を優先課題として考えているのか伺います。

小学校統合を最優先

答 町長

行政運営にあたっての最優先は、と言うことですが町の課題は、さまざまな課題があります。私が最優先課題として位置付けておりますのは、何と言っても小学校の統合を速やかに実現することです。小学校教育の意義を十分踏まえた中で平成29年4月に統合校の開校を目指してまいりたいと考えています。

左 一郎 議員

教育問題について

問

小中一貫教育の移行についてですが、昨年少学校の統合問題で4小学校を2校にさらに2校を1校に統合するとの答申が出されていました。平野町長になり4校を1校に統合し、小中一貫教育に移行することになりました。このことについて住民または子ども達にどのように説明するのか伺います。

説明会を行います

答 町長

統合問題については、短期間に統合を2回行うと、子ども達への負担、教育環境を変えることが望ましいかどうかということが考慮しますと、一気に1校にした方が良くという考え方で今後、皆さんのご理解をいただいて郷土を愛する気持ちに配慮しながら、きめ細かな対応をしてまいります。

労働安全衛生法による

技能講習修了証

氏 名
生年月日
本 籍 千葉県
住 所 千葉県
交 付 日 平成26年 2月21日
千葉労働局長登録教習機関

▲技能講習修了証

たいと思います。そこで広報やホームページ住民説明会等を準備しているところです。



▲3月に行われた学校統合説明会

問 学校建設に当たり財源が厳しい中、財源はどのように考えているのか。

答 企画財政室長 国の負担金、起債、積立金を考えています。

丸島 なか 議員

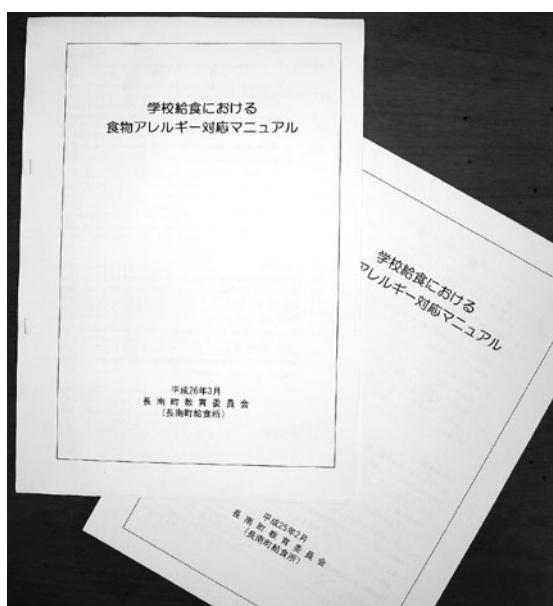
学校給食におけるアレルギー対策について

問 本町での小・中学校の児童・生徒の学校給食におけるアレルギー対策の実態とアレルギー対応マニュアル等の策定について現状と取り組みについて伺います。

対応マニュアルを策定済み

答 教育長

食物アレルギーの児童・生徒は、町全体で9名です。給食での対応が必要な児童・生徒は7名。発症時の薬を持っている子どもが1名です。給食で対応できない子ども1名は、弁当持参でお願いしています。主なアレルギー源は卵、



▲給食所のアレルギー対応マニュアル

乳製品で、かゆみやじんましんなど軽微なものです。平成23年4月に、アレルギー対応マニュアルを作成しました。

問 2008年4月、文部科学省よりアレルギー疾患のガイドラインが発表され、アナフィラキシーショックに対処する自己注射が可能なアドレナリン製剤（エピペン）を本人に代わって教職員らが打つことを医師法に違反しないとする見解が示されました。町内全教職員にアレルギー講習の受講と、万が一救急搬送される場合の消防機関と情報共有はされているか伺います。

答 教育課長

全教職員が研修を受けており、さらに養護教諭はエピペン投与研修も受けています。なお、エピペン投与が必要な生徒が在籍する場合は、学級担任・管理職もエピペン投与研修を実施してもらいます。緊急時対応マニュアルが整備されており、関係機関も、消防署を含め連携体制がとられています。

糖尿病の予防対策について

問 我が町の糖尿病予防対策の現状と課題について、また、人工透析の1人当たりの国保の負担額について伺います。

早期発見、早期治療を目指しています

答 町長

糖尿病予防対策としては、特定健康診査等の中で、早期発見、早期治療を目的として実施しています。国保において糖尿病で治療を受けた件数は年間約1560件、人工透析の国保負担は、1人年間600万円前後です。

問 検診により、糖尿病の重症化を予防すれば患者に喜ばれ医療費適正化にも繋がりますが、課題と対応を伺います。

答 税務住民室長

集団検診の受診率は36%です。受診率を上げる為、啓発・特定健診の案内の郵送、電話案内等を行っています。

レセプト（診療報酬明細）活用について

問 レセプトを分析するデータヘルスを導入して、医療費の適正化に効果を発揮すれば、国民健康保険の

財政にもメリットとなると思いますが、導入について考えを伺います。

動向を見ながら検討**答 町長**

町民の健康保持のため、レセプトを利用しようという取り組みについては、費用対効果、各保険者の動向を見ながら検討します。

加藤喜男 議員**職員について****問**

①第4次定員適正化計画により、現在131名の職員を更に削減する計画があるが、職員数についての考えは。②今までの採用基準、採用をどのようにしてきたのか。③現在の町内、町外職員の割合は。④職員の机の配列が不評であるが、配列や大課制についてどのように考

えているのか。⑤職員の教育について、町独自のものがあるか。⑥公会計制度での複式簿記に関する知識の必要性から簿記3級の資格取得を推奨してはどうか。

**職員数は適正と考えている****答 町長**

①本町と類似する団体は、全国で92団体あり、本町は中位置であり、適正と考えている。②職員の採用は、千葉県

定員適正化計画**【第4次】定員適正化計画**

各年4月1日現在 単位：人

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
計画職員数	145	144	140	140	133	132	124	125	116	115

少子化対策について**問**

①結婚しない人が増えることも、少子化の要因の一つである。カップル誕生の仲介の労を取ってくれた人に、報償金などを差し上げる「誰でも仲人」制度を考えてみてはどうか。②一般会計予算の1%を充当している自治体もある。一人10万円の出産祝金を見直しをしてはどうか。③小さなお子さんを持つお母さん方を招いて、町長自ら色々な意見をくみ上げてはどうか。

対応策をじっくり検討していきたい**答 町長**

①少子化の対応策をじっくり検討させていただきたい。②町の少子化対策に取り組む姿勢というものとして、特に第3子以降のお子さん誕生に際して、お祝金を増額することとはそれなりの意義があると思っている。財政状況を見ながらまた検討していきたい。③子育てに向けての意見をいろいろお聞きすることは非常にいいことだと思っているので、そういう機会を持てるかどうか検討してみたいと思う。また、いろいろな方の意見を聞くことはしていきたいと思っている。



小幡 安信 議員

新年度予算について

問 就任されたときには予算の大枠は出来ていて、変える事も難しかったとは思いますが、その中であえて町長の意向を盛り込んだ部分があるとすれば、どの部分なのかお聞きしたい。

最優先は小学校の統合問題である

答 町長

町の基本計画、総合計画等に基づいて事業を実施していくという基本的な考えであり、今回もそのように編成されている。その中で小学校統合問題で教育施設整備基金に積立金を計上した。

町の情報発信について

問 町に活性化の流れを起こし、上昇気流を産み出すためには多くの町民の

協力が必要だと思っています。そのために町が積極的に情報を提供し、町民との一体感を作り出す事が肝要だと思う。その点で町の情報発信は質的にも量的にも遅れていると思うが、どう考えているか。

より良い発信方法、発信内容があれば取り入れていきたい

答 町長

町のホームページでそれなりに発信はされていると思っている。今後の発信力強化についても、ほかの例も参考にしながら充実してまいりたい。

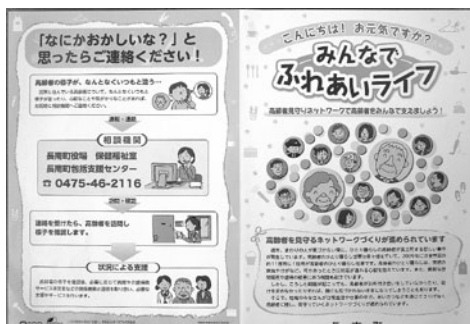
長南町見守りネットフック条例について

問 12月議会で制定した条例であるが、その後各種団体、民間協力機関との協定は順調に結べているか。

3事業者と提携

答 町長

2月の広報配布時に「みんなであれあいライフ」を毎戸配布し、民生委員会や介護サービス事業者等の会議において理解と協力をお願いしている。協定の締結については随時お願いしているところであり、今3事業者と締結している。



▲配布された「みんなであれあいライフ」

イノシシ対策について

問 町のイノシシ対策の状況はどうなっているか。その上で免許取得の補助を増額してどうか。肉の加工処理販売が出来れば、捕獲も進むと思うがどうなっているか。

免許取得の補助金は前向きに検討

答 町長

町の鳥獣被害防止協議会を中心に駆除と防護の両面で各対策に取り組んでいる。現在の捕獲数は207頭で前年の

板倉 正勝 議員

役場組織の見直しについて

問 前藤見町長の時にも一般質問させていただきましたが、今後、大課制の見直しの考えがあるかどうかについて伺います。今の職員の体制は、災害時などは事業課の課長が迅速に指揮を執り、職員を指導するなど良い体制だと思っています。しかし、

茂原市などと比較した場合、長南町は職員の人数も少ないので、大課制ではなく各室長が責任を持って、住民の要望にもすぐに対処ができるよう

1.8倍である。町としてもイノシシ対策に協力し、従事していただける方々に助成することは前向きに検討していきたい。イノシシ肉の加工処理販売は施設の運営、販路等課題も多く、近隣の自治体と協議の場を持ちながら検討していきたい。

平成27年度には大課制を廃止し、組織体制の見直しを行う

答 町長

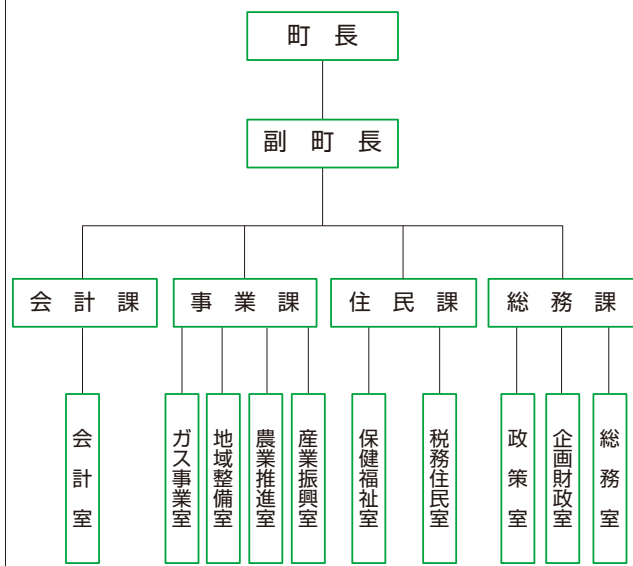
現在の大課制につきまして、第4次行政改革の一環として平成22年度に導入してい

なことをしていただきたいと考えます。今後、平野町長におかれまして、条例の問題等について考えていく中、この大課制についての組織編成をどのようにしていこうと考えているのか伺います。

ます。大課制は課の組織が大きくなることから、横の連携強化が図られ、大きな事業やイベント時に応援協力体制を敷くことが可能である。そういったメリットがあるものの、受け持つ分野が広範囲にわたるため、担当がいらないことによる事務の停滞、責任の所在の不明確な側面があるといわれております。そういったことから、町の課題に即応できるよう、また、住民の皆さんにわかりやすく、サービスの行きわたるような組織というものを考えています。した

がつて27年度に大課制を廃止する方向で、今後組織体制の見直しを行いたいと考えています。また、災害時の初動体制については、災害時の最終マニュアルを整備し、職員に徹底するとともに、課長が職員を管理し指導育成をする。そういったものが直接下位に行き届くような組織づくりをしていかないと業務遂行も滞ってしまうのではないかと、そのような心配もしておりますので、思い切って進めて行こうと考えています。

現在の役場組織図



閉会中の継続調査報告書（要約）

産業振興策に関する調査研究

総務常任委員長 板倉正勝

平成25年11月20日～21日の2日間、総務、産業建設、教育民生の常任委員会合同による議会閉会中の継続調査のため、群馬県甘楽町を視察いたしました。

耕作地の土地利用のあり方や、交流人口の増加対策の一つの施策であると感じた次第です。また、財団法人甘楽町都市農村交流協会は、「道の駅甘楽」も運営しておりますので、次に道の駅を視察いたしました。想定より売り上げ

平成25年4月に首都圏中央連絡道の茂原長南インターチェンジが供用開始となりましたので、これを契機に町の活性化や、土地利用のあり方などをテーマに研修してまいりました。

甘楽町活性化の交流拠点である、財団法人甘楽町都市農村交流協会が運営する、甘楽ふるさと館のクラブハウス内で研修を受けました。甘楽ふるさと館は平成12年4月に「ふるさと農園」をオープンし、区画数は大小合わせて148で、現在143区画が利用されています。この高い利用率は東京都北区と友好都市交流協定を締結したことが大きな要因です。本町も圏央道の供用開始により、東京都や神奈川県との所用時間が格段に短縮されましたので、不



▲甘楽町にて調査を実施

が多いため、現在増築工事中でしたので売り場面積は手狭ですが、多くの利用客が訪れておりました。販売品は、町の特産物、農産加工品、民芸品や地酒ですが、その他に姉妹都市イタリアのチエルタルド市直輸入のワインやオリーブオイルなども販売していました。特にワインの売れ行きが好調で、今年は昨年の4割増の輸入をしたとの事でした。道の駅といえば地元生産物販売との既成概念にとらわれがちですが、新たな認識を得ることができました。長南町は活性化や農地の保全が大きな課題ですので、今後の町発展のために生かしてまいります。



議会を傍聴してみませんか

傍聴の手続きは、受付簿に住所、氏名などを記入するだけです。

町議会では、皆さんの生活に密着した問題が審議されますので、あなたも議会の傍聴にぜひお越しください。(第1回定例会傍聴者数は、延べ17人でした。)

平成26年第2回定例議会は、6月に開会されます。

日程等の詳しいことは、議会事務局(46-3390)へお尋ねください。

議会活動日誌

平成26年

- 2 / 5 第1回臨時議会
- 2 / 10 第1回長生郡市広域市町村圏組合議会定例会(12日、25日)
- 2 / 18 議会全員協議会
- 2 / 19 千葉県町村議会議長会定例会
- 2 / 21 九十九里地域水道企業団理事会
- 2 / 24 議会運営委員会
- 3 / 4 第1回定例議会(～3/14)
- 3 / 11 長南中学校卒業式
- 3 / 18 各小学校卒業式
- 3 / 25 保育所卒園式
- 4 / 2 保育所入園式
- 4 / 8 各小学校入学式
- 4 / 9 長南中学校入学式
- 4 / 11 議会広報特別委員会
- 4 / 18 議会広報特別委員会

皆さんの声を町政に

議会では、町民の皆さんのご意見やご要望を町政に反映させたいと考えています。

議会に関するご意見や議会報を読んで感じたことをお寄せください。

お待ちしております。

次回の議会報は、平成26年8月発行予定です。

TEL 0475-46-3390

FAX 0475-46-1214

e-mail: gikai@town.chonan.chiba.jp

長南町議会

図書カードが当たります!

3つの答えの中から正しいものを選びハガキに書いてお送りください。「議会報」を読めば分かります。

クイズ No.83

問1 平成26年度長南町一般会計予算と特別会計の総額はいくらか。

- A、66億1770万円
- B、39億8700万円
- C、12億円

問2 平成26年第1回定例会で、何人の議員が一般質問を行いましたか。

- A、6人
- B、7人
- C、8人

問3 道路線の認定路線は何路線ですか。

- A、3路線
- B、12路線
- C、5路線

《応募方法》

ハガキに議会報の番号、答えの記号(例、問1=A)、住所、氏名、年齢、電話番号、職業(学校名)を記入のうえ応募してください。また議会報についてのご意見やご要望などを書き添えてください。全問正解者の中から、抽選で7人の方に図書カードをプレゼントします。

あて先

〒297-0192

長南町長南2110番地

長南町議会事務局

締め切り 平成26年5月31日

(当日消印有効)

前回の全問正解者数は、17人で正解は問1=A、問2=C、問3=Bでした。当選者の発表は、図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

この議会報が皆様方に届くのは、5月の行楽シーズン真只中と存じますが、今年は45年ぶりと云われる大雪に2度も見舞われ、改めて雪国の除雪が大変だということを実感いたしました。本町でも想定外の大雪で農家の方をはじめ、多くの方が被害にあわれました。心からお見舞い申し上げます。

さて、3月4日から14日まで平野町長のもと定例議会が開催され、初めての予算議会となりました。全議案が可決され、平成26年度も順調に平野町政がスタートしました。皆様には町政に関心を持っていただき、また、議会報も楽しみにしていただきたいと思います。クイズでは徐々に、はがきの応募数も増えてまいりました。「見やすい・わかりやすい・読みやすい」をモットーに専念いたしますので、今まで以上に愛読いただきますようお願いいたします。

(松崎剛忠)